

委員会だより



しあわせな社会探究委員会

本年度、持続可能型社会開発室 しあわせな社会探究委員会の委員長を仰せつかりました加度亮平です。当委員会では「真の幸せを知る経営者育成事業の調査・研究・実践」「国政選挙における投票率向上のための取り組みの調査・研究・実践」「例会行事」「会員拡大の実践」を担当いたします。この担当事業が尾道のため、家族のため、自社のため、全員のWINWINとなる活動にしたいと思っております。今年で32歳になりますので、JC生活もあと8年。今まで散々お世話になった皆様に、本年度の尾道青年会議所の活動を大成功させる事がせめてもの恩返しになると思っています。その一助となれるよう精一杯頑張ります！ 委員長 加度 亮平



環境問題啓発委員会

明けましておめでとうございます。本年度、環境問題啓発委員会の委員長を仰せつかりました安楽城です。当委員会では、読んで字のごとく、環境問題の観点から持続可能型社会を目指して啓発していく委員会となります。経済発展と自然の恵みを受取るいま、ここに暮らす私たちの幸せを未来へと繋げていくために、まず出来ることから始めていきたいと思っております。委員会一丸となって一年間一生懸命取り組んでまいりたいと思っております。皆様本年もどうぞよろしくお願い致します。 委員長 安楽城 大作



地域の魅力創造委員会

地域の魅力創造委員会委員長の森石貴裕です。「感謝」というテーマの下、1年間精力的に活動して参ります。来年度、尾道松江線の開通により、瀬戸の十字路となる尾道の魅力を発信して行こうと考えています。自分の生まれたまち、自分を育ててくれたまち尾道に感謝の気持ちを込めて事業を進めて行きます。1年間、メンバーの皆様にはお願いばかりになると思いますが、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。 委員長 森石 貴裕



地域の文化継承委員会

明けましておめでとうございます。本年度 地域の文化継承委員会の委員長の濱中貴一郎です。宜しくお願い致します。本年度当委員会では、祭りに携わせて頂く事業がメインとなっております。そんな中最初の事業が、新年宴会という事で、高橋武也理事長を盛り上げるべくメンバー一丸となり、数ヶ月前から事業に取り組んでおります。私自身も卒業年度に委員長をさせて頂き、また新任という事で、メンバーの皆様にはお願いばかりの委員長ですが、若手の勢い、ベテランの貴重な意見、そして、副委員長、副理事長の良きサポートのもと、1年間楽しみながら突っ走って行きますので皆さんこの1年間どうぞ宜しくお願い致します。 委員長 濱中 貴一郎



徳溢れる教育推進委員会

徳溢れる教育推進委員会の槇原勝です。当委員会では教育に関わる事業と家族会、桜の植樹、そして会員拡大に取り組んでまいります。委員会メンバー皆で力を合わせ、そして皆様のご協力を頂きながら、頑張っていきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。 委員長 槇原 勝



拡大研修委員会

拡大研修委員会 委員長の美ノ上です。拡大研修委員会は常に笑顔を忘れない！ 拡大はいつも明るく元気よく、明るく元気な尾道を実現するための拡大活動をやっていきます。メンバーの皆様のご協力をよろしくお願い致します。 委員長 美ノ上 仁孝



総務渉外委員会

本年度 総務渉外委員会委員長を務めさせていただきます、尾野です。当委員会では、1年間とにかく楽しくをテーマに各種事業に取り組んでまいりたいと思っております。委員会はもとより、例会の設営でも皆様に楽しんでいただけたような、参加したくなるような設営を心がけて邁進してまいりたいと思っております。小林副委員長をはじめとする最強のメンバーで2013年度を駆け抜けていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。 委員長 尾野 公祐



情報ネットワーク委員会

明けましておめでとうございます。本年度情報ネットワーク委員会委員長を仰せつかりました徳永剛志です。当委員会では年間を通じて会員手帳と名刺の作成、ホームページの管理運営、JCライフの発行など、広報活動全般を担当させていただきます。大事な裏方として、我々尾道JCの軌跡をしっかりと刻ませて頂きます。そしてもちろん私をはじめ委員会メンバー全員で、全身でJC活動を楽しみながら、有意義な一年を過ごしていきたいと思います。若輩者ではございますが、何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。 委員長 徳永 剛志



事務局

事務局長を仰せつかりました、佐藤です。2007年に入会し早いもので6年目を迎えました。また本年度で3度目の理事をさせて頂きます。セクレタリー経験後の事務局長としてプレッシャーもありますが、安部専務理事、池田セクレタリー、山北セクレタリーと楽しみながら、高橋理事長を始め皆様の縁の下の力持ちとなり邁進していくとともに、充実した一年にしていきたいと思っております。また、皆様をお願いをする場面があるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。 事務局長 佐藤 敏章

いま、ここ しあわせの青い鳥を探して

2013年度 理事長 高橋 武也

今、今を乗り切ること、精いっぱい、我々の喉元にナイフを突き付けられたような感覚を覚えました。我々は責任世代として「何がこのままじゃいけないのか」「どう変えていけばよいか」「もっと真剣に向き合い、考え、行動する必要があるのではないだろうか」。

現在、最も信仰されている宗教は「科学」だと言われることがあります。個人の宗教観は置いておいて「信仰心がなくなった」とされる現代においても、生きていく上での「羅針盤」となるものは必要です。それが「経済」なのか「科学」なのか「宗教」なのか。混沌とする現在、そのすべてに疑問符を抱きながら現代人（日本人）は迷っているのだと思えます。

2010年鳩山内閣の時に国民総幸福量（GNH）という考え方が話題になりました。経済的な成長、物質的な豊かさよりも「国民の感じる幸福量の総量」を重視するという、この考え方には大いに共感します。しかし、しあわせになるための環境を整えてもそれは対症療法でしかありません。一番大事なのは我々にしあわせを感じ取る能力があるかどうかです。しあわせとは「なごみ」ではなく、「気づく」ものなのです。

今の日本は、数多くの課題を抱えています。社会保障問題、国の財政悪化、少子高齢化問題、原発問題……。これらの重要で難しい問題は言わば、過去からの「つけ」がまわってきたと考えることもできます。我々は選んでこの国に生まれた訳でもなく、選んでこの時代に生まれてもいません。そういう意味では、この「つけ」は我々の責任ではないとも言えるでしょう。

しかし我々は命の危険を感じることもなく、便利で快適な生活を享受しています。我々は選んで「いま、ここ」に生まれた訳ではありませんが、その豊かさや安全を享受する以上「良いこと・悪いこと」その全てを自分のこととして受け止めて、「いま、ここ」に責任を持つ生き方をしなければなりません。「いま、ここ」で起きている現実と向き合い、自分以外の誰かに責任の所在を求めることなく、謙虚さをもつて物事にあたって行く義務があるのです。

地球上、日本中に存在する悲しみや涙、喜びや拍手。その全てにおいて、「いま、ここ」に存在する一人の人間として「共感と責任」を感じることが出来るか。そしてその「共感と責任」に対する行動を我々の現在地である尾道から発信することが出来るか。それこそが「世代責任」と言えるのです。

京セラ名誉会長、稲盛和夫氏は著書の中で自らの経営学、稲盛和夫氏の著書の物事の判断基準を「原理原則に則して物事の本質を追究して、人間として何が正しいかで判断する」と言われています。これは経営や会計のみならず、人が為すこと全てに当てはまるのではないのでしょうか。2013年度は我々のJC運動の本質を見つめ直す1年に出来ればと考えます。「我々の展開するJC運動の原理原則とは何か」をよく考え、来るべき60周年へむけてのファーストステップを踏み出しましょう。

- 【2013年度 活動方針】
- 持続可能な社会の構築に向け経済政治環境に対して地域から取り組めること
 - キーワード
 - ・ 良い経済活動とは「関わる人皆がしあわせになること」、「それが長期的に持続可能であること」
 - ・ 「関わる人皆がしあわせになること」、「それが長期的に持続可能であること」
 - ・ 経済発展と環境保護の調和は可能か
 - ・ 我々のライフスタイルの見直しも含め、長期的な視点に立って環境問題を考えよう
 - 瀬戸の十字路の起点たる尾道の魅力とは
 - キーワード
 - ・ もっと全国に発信できる尾道の埋もれた宝はないか
 - ・ 尾道松江線の開通を念頭に、尾道の新たな魅力の創造と発信
 - ・ 行政・他団体との協働による尾道市内の賑わいの創出
 - ・ 地域の伝統文化の継承をささえるのもJCの重要な役割のひとつ
 - 尾道の未来を支える人材の育成
 - キーワード
 - ・ 「ならぬことはならぬ」という教育の実践(会津藩 什の掟)
 - ・ 子育て世代の我々ができる最大の社会貢献は1人でも子どもを増やすことだ
 - ・ スポーツ、読書、音楽、芸術文化都市尾道にふさわしい取り組みを実践しよう
 - ・ 会員拡大への取り組みは、まだ見ぬメンバーに対する責任だ
 - ・ 卒業までに最低限2人の拡大を成功させよう
 - JCの存在意義を見つめ、その価値を信じよう
 - キーワード
 - ・ 合理的な広報でJCの価値をもっと社会に広めよう（ホームページ、JCライフ、SNS等の有効活用）
 - ・ 日本JCのノウハウをもっと活用しよう
 - ・ 修練・奉仕友情どれがかけてもJCではなくなる
 - ・ 戦略的な広報でJCの価値をもっと社会に広めよう（ホームページ、JCライフ、SNS等の有効活用）
 - ・ 日本JCのノウハウをもっと活用しよう
 - ・ 修練・奉仕友情どれがかけてもJCではなくなる

新年明けましておめでとうございます。

一般社団法人尾道青年会議所は「いま、ここ」しあわせの青い鳥をさがして〜というテーマのもと97名の会員をもって2013年度の運動をスタートいたしました。今の時代に生きる我々は幸せでしょうか？不幸せでしょうか？、恵まれているのでしょうか？恵まれていないのでしょうか？私は最高にしあわせで、最高に恵まれていると思えます。現代を作ってきた先人たちが常にベストだと思える積り重ねが、ベストの結果ではないかもしれませんが、ベストの選択である「いま」であるなら、我々の責任は与えられた「いま、ここ」で最善を尽くすことではないでしょうか。尾道にとつて、メンバーにとつて、実り多い1年間になるよう、力を尽くしてまいります。

2013年 新年の挨拶

第57代理事長 高橋 武也

編集後記

JCライフ1月号、いかがでしたでしょうか？今年も皆様に、尾道JCの活動を分かりやすく、そして楽しくお伝えして参りたいと思っておりますので、どうぞ1年間よろしくお願致します。

情報ネットワーク委員会 副委員長 辻 健志

シニアクラブ会長新年のご挨拶



尾道青年会議所シニアクラブ
会長 福井 弘

平成25年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。
日頃から、シニアクラブの運営に対しては、温かいご理解とご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度の我が国の経済は、長期にわたるデフレや円高により、家電業界をはじめ、輸出産業に大きな影響を与える等、大変厳しい経済状況が続いた二年でありました。昨年末の国政選挙により、自公が政権奪還。安倍内閣が誕生。このことが、2012年国内の重大ニュースのトップになった程、国民の期待が高まっています。新政権には、今の閉塞状態を「決める政治」で、打開をしていただき、特に急がなければいけないのは、「デフレからの脱却と円高の是正であり、成長強化策も思い切って実現に移していただき、日本経済の原動力とも言える、中小企業が元気となる諸対策を重点的に実施され、今年が日本経済再生元年として、日本の将来に明るい展望が開けることを強く期待しています。

幸いにして、尾道市は、平成26年度には中国横断自動車道（尾道〜松江）の全線開通が予定されており、また、瀬戸内しまなみ海道開通15周年、そして、瀬戸内海国立公園指定80周年に、「瀬戸内しまなみ博覧会」の開催も計画される等、瀬戸内海の拠点都市として、更なる飛躍に向かって、大きなチャンスを迎えております。このチャンスを最大限活用し、中国横断自動車道・瀬戸内しまな

み海道沿線地域や、近隣都市との連携を深めるとともに、世界に誇れる瀬戸内しまなみ海道を全国へさらに海外へと発信し、広域交流の促進に向け、全市が一つとなって英知を結集し、魅力ある都市づくりの礎を構築しなければなりません。

幸いにして、尾道青年会議所は昨年55周年を迎え、他LOMに比べ、尾道JCの活動は活発であり、さらに、尾道経済界での後継者への時代継承もスムーズに進んでおり、皆さんから尾道の若い人は元気だと評価をいただき、うれしく感じています。今年も、高橋理事長を中心に、是非、未来へ向かって直面する困難を乗り越え、元気な尾道の創造に向かって、全力で取り組んでいただくことで、素晴らしい青年会議所活動が展開されるよう、期待しています。

シニアクラブメンバーも、現役からの協力・支援の要請があれば、心強い支援をしていきたいと思っております。現役の活躍とシニアクラブメンバーが、協働し合うことで、本来の尾道地域の活性化が力強く進んで、素晴らしい年になりますよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶と致します。

初詣



生憎の曇天で吐く息も白く寒い一日でしたが、参拝を終えたメンバー全員晴やかな顔で、決意新たに新年のスタートを切りました。



1月4日（金）、高橋理事長をはじめとする正副理事長、事務局メンバーで良神社へ初詣に訪れました。今年も、尾道青年会議所が恙無く活動出来るよう、そしてメンバー全員が健やかに、楽しく有意義にJC活動を行えるよう祈願して参りました。



12月例会
卒業例会

12月17日、尾道国際ホテルにて2012年度の最後の事業となる12月例会（卒業例会）が行われました。「絆守 KIZUNAMORI ～離・破・守～」と題し、オープニング、卒業生の過去の活動を振り返る映像、送辞・答辞、そしてエンディングでは「2012年度の軌跡」がスクリーンに映し出されました。

多くの先輩方に見守られながらの卒業例会。そして、本例会では尾道青年会議所の会員が全員出席、100%例会を達成して、全員で卒業生を送ることができました。

今川先輩、田中先輩、萩原先輩、鍛冶川先輩、巻幡先輩、ご卒業誠にありがとうございます。先輩方の教えを胸に、我々は明るい豊かなまちづくりのために頑張ります。皆様の更なる飛躍と今後のご活躍をお祈り致します。

（取材）情報ネットワーク委員会 細木 夢



鍛冶川 立章 先輩



今川 智弘 先輩



巻幡 憲典 先輩



田中 公浩 先輩



萩原 功 先輩

新入会員紹介



大西 貴明

はじめまして。本年度拡大研修委員会幹事を務めさせて頂いて頂いております。株式会社オオニシの大西貴明と申します。巴年の2013年皆様と身を結びそして少しでも力を身に付けJC活動等皆様の力に少しでも尽力していきたいです。よろしくお祈り致します。



大池 茂仁

どうも、人見知りですが大きいだけの新入会員の池田茂仁です。長者原で、鉄工所に勤務しています。趣味と言えるか解りませんが、ウエイクボード、スノーボードを少々楽しんでます。JC活動を通して少しでも自分が成長できるように頑張ります。



石井 宏幸

新入会員の石井です。株本鉄工所で営業をしています。生まれは、山口の美祿になります。尾道でこのような団体の会員になれるとは思っていませんでした。この機会を大事にして、今後家庭と、仕事と、JCを全力で頑張っていこうと思っております。まだ、尾道のおの字も知りませんが、宜しくお祈り致します。

謎クイズ 2013 第1回

次のキーワードから連想される言葉は何でしょう？

- 1: ウィリアム・マッキンリー
- 2: 浦川泰幸
- 3: 高橋大樹
- 4: 衆議院議員
- 5: マンガン

尾道青年会議所 facebookページ

（正解は公式フェイスブックに掲載予定！）

Congratulations!

なの 山根 凧乃ちゃん、12月16日に産まれました！

という事でウチは三姉妹になりました。これからもよろしくお祈り致します。

情報ネットワーク委員会 浩揮